

令和6年度通常総会

議 案

令和6年4月20日(土)

石 川 県 巨 樹 の 会

Ishikawa Giant Tree Association

議案第1号

令和5年度事業報告及び収支の状況について

1. 事業報告

(1) 総括

先ずは新年元日に発生しました能登半島地震で被災されました方々にお見舞い申し上げますと共に多くのお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。

さて新型コロナウイルス感染症も昨年5月8日からの5類移行発表に伴い本会活動は総会・講演会(4月22日)も含め従前の活動に戻りつつあります。しかしながら、懇親会を含む合同役員会等は冒頭に述べさせて頂いた能登半島地震の発生でその後はほぼ中止となりました。本会会員も能登にお住まいの方々も多く本会としても大変心配しているところです。一刻も早い復興復旧が望まれます。

会員の皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

ア 例年の事業である巨樹探訪会の春季は富山県魚津市、上市町方面へ参加人数24名での開催となりました。自家用車での訪問は制限されている洞杉をはじめ、埋没林博物館では学芸員さんから特別天然記念物に指定されている巨大杉の根が湧水の中で保存展示されており腐らないとの説明を頂きました。

滞在中偶然「蜃気楼が見えます」との館内放送で日本海が見渡せる展望デッキに上がり目を凝らしました。

確認できた人には館発行の日付入り「確認証」が渡されました。

秋季は、白山市手取川流域の巨樹を25名の参加者で訪ねました。

12月2日と例年より1カ月半ほど開催が遅れ天候が心配されましたが幸いに大きな崩れもなく、思いもかけない積雪に白くなった大栗、黄葉の絨毯が敷かれた夜泣公孫樹、青空と紅(黄)葉の山々を背景立つ深緑の御仏供杉等記憶に残る探訪会でした。

イ 会報は8月2月の2回会員はもとより、行政や報道機関、図書館をはじめ友好団体等にも広く配布し、巨樹の保護や本会活動についての理解や普及に努めました。

ウ 「いしかわ環境フェア」は県産業展示館4号館で開催され本会も昨年に引き続き出展・参加し本会活動をPRできたと思います。

エ 調査普及活動においては、白山手取川世界ジオパーク認定に伴う巨樹調査に参加し、市ノ瀬のコモチカツラと御仏供杉の幹周、樹高測定や健康状態のチェック等を実施しました。

巨樹データ管理については、穴水町の巨樹の再調査等を実施し、今年度中にはデータベースの公開を予定しております。

「第34回巨木を語ろう全国フォーラム青森・階上町大会」には、本会から7名が参加し、広く全国の巨樹愛好家・樹木や森林の専門家の方々と情報交換や情報共有を図り、歴史ある本会の活動をアピール出来ました。

また、全国巨樹・巨木林の会から、第3回加賀市、第30回金沢市での全国フォーラム開催等、会への貢献に対して、高木会長、濱野相談役理事の御二人に感謝状が授与されました。

(2) 会員の状況

総括でも申し述べましたが、新型コロナ感染症の5類移行で様々の活動がほぼ元に戻った一年間ではありましたが会員数においては辛うじて前年数を維持（微減）することが出来安堵しているのが率直な感想です。

しかしながら、会員の高齢化は進み特に若年層の入会を図るべく、役員の新若者登用、ホームページの強化、巨樹データベース、魅力ある探訪会、講演会の内容再検討が必要ではないかと痛感しております。

令和6年3月末現在

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減
個人会員	131	131	128	-3
法人会員	13	13	13	±0
購読会員	5	5	5	±0
計	149	149	146	-3

(3) 事業の経過

令和5年4月～令和6年3月

① 会議等

会議等名	実施日	備考
総会	4月22日	県文教会館
監査	3月30日	神社庁にて
打ち合わせ 樹木調査等	3月31日 4月6日、18日、21日	総会打ち合わせ他
	4月3日、4日、14日、17日、23日、27日	
	5月11日、17日、18日、19日、20日、21日 26日、21日、26日、27日、29日、30日	
	6月13日、17日、20～26日、28日、29日	
	7月20日、26日	
	8月7日、12日、17日、24日、25日、26日 27日、28日、29日、30日	
	9月1日、6日、11日、21日、27日、28日	
	10月2日、7日、10日、21日、25日、27日 30日、31日	
	11月1日、5日、6日、7日、8日、9日、14日 15日、24日、27日、28日、29日	
	12月1日、2日、14日、21日	
	1月22日、29日	
	2月5日、14日、21日	
理事会	2月23日	

② 講演会

日 程 4月22日
会 場 石川県文教会館406号室
講 師 嶋田 亜砂子氏 室生犀星記念館学芸員
演 題 「室生犀星と樹木」～その形と意味～
出 席 25名

③巨樹探訪会

春季 (5月27日) 魚津・上市町方面 (参加24名)
秋季 (12月2日) 白山市方面 (参加25名)

④会報 「巨樹いしかわ」の発行

8月(第69号) 2月(第70号) 各500部

⑤調査・研究・普及活動等

ア【いしかわ環境フェア】の参加・出展(8月26日、27日)

本会作成の「石川の巨樹・巨木林ガイド」を中心に写真展示や巨樹の環境への効果、本会の活動を紹介しました。

コロナ感染症5類移行を受けて4年振りの完全開催で多くの来場者がありました。23年振りに調査した白山市天然記念物「市ノ瀬のコモチカツラ」の写真と解説文で紹介し好評を得ました。

イ その他関係団体等が開催する活動や行事等への参加・指導・協賛。

6月17日 石川県自然史センター総会・講演会
参加 高木会長 他3名
6月29日 いしかわ環境パートナーシップ県民会議総会
出席 高木会長
10月7、8日 巨木を語ろう全国フォーラム青森・階上町大会
参加 高木会長 他6名
11月5日 穴水町林業研究会
「巨樹をはかろう」講師 間明副会長
他 2名参加

2. 収支決算

別紙1.

(1) 総括

令和6年3月31日現在の決算は別紙1の通りとなりました。

会費の未納が若干気になりますが、会報発送に併せて未納分請求予定です。

今年度はコロナ感染症5類移行に伴い活動全般において従前に戻り活発化してまいりました。会員数の自然減は従来通りではありますが新規入会者もそれなりにあり、今年度は創立35周年の節目の年であり記念事業等を企画し活動充実を図り併せて若年層へのアピールを軸に会員増を図ってまいります。

議題2

令和6年度事業計画及び収支予算(案)について

1. 事業計画

(1) 基本方針

- ① 巨樹に親しみ護ることの意義や重要性の認識の普及・浸透に努める。
- ② 巨樹調査データの整理更新作業のほぼ完了を踏まえ再調査の未実施分の計画を継続し、会員も含め多く一般の方々への情報共有を図る。
- ③ 巨樹の健全度などの現状把握に努め診断や保護対策を提言する。
- ④ 自治体(地域)と連携し、保護対策の充実及び特に重要な樹木の天然記念物指定等に努める。
- ⑤ 本会の趣旨、目的、活動の重要性を広め、会員の増加に努める。
- ⑥ 能登地区の復興復旧を応援する活動を組込みたい。

(2)事業計画

① 講演会

日時 令和6年4月20日(土) 14時30分～16時00分
場所 石川県文教会館202会議室
演題 「マダガスカルを旅して」～バオバブウォッチング～
講師 濱野 一郎氏(本会相談役理事)

② 巨樹探訪会の実施

ア 創立35周年春季 5月25日(土)、26日(日) 別紙6
探訪先 兵庫、大阪、京都
国指定記念物4本、二条城、京都御所
イ 秋季 11月9日(土)(予定)
探訪地 能登方面(未定)

③ 会報「巨樹いしかわ」の発行

ア 発行回数 2回 (8月、2月)発行部数 500部
イ 会員からの積極的な寄稿を求める

④ 調査・研究・普及・保護活動等

ア 巨樹古木の健全度等の現況調査
イ 巨樹データベース(環境省)の更新及び登録
ウ 自治体と連携し巨樹の重要性について社会的理解と認識を高める地域活動等の推進
エ 巨樹古木の保護等に関する相談や診断、管理指導等
オ 「巨樹保護活動等」の継続実施
カ 関係団体の行事等への積極的参加と巨樹の意義や重要性、巨樹愛護の普及・啓発。特に秋予定されている「巨木を語ろう全国フォーラム福井・大野大会」への積極的な参加。
キ 巨樹の会の存在をPR、特にホームページ、SNSツールを利用し幅広い年代層にアピールする。
ク 能登、加賀、金沢各地区の地区委員との情報交換会の開催。特に能登地区の復興を応援する活動の組み込み。

⑤ 会員の増加、支援者の拡大

会の活動のPR、自治体への要望、探訪会への一般参加の推進、幅広い内容による講演会等で会員増を図る。

2. 収支予算案

別紙2.

会員の減少や能登地区居住者の会費免除に伴い収入減が予想され、会員を確保するため活動内容の見直しや広報活動の工夫等が必要です。

議題3 規約改正について

別紙3

事務所移転に伴い規約改正のご審議をお願いします。

報告事項

- 1) 令和6年度運営委員及び地区委員の委嘱について 別紙4
- 2) その他報告
 - ① 能登半島地震の対応について 別紙5
 - ② 手取川環境総合調査報告について 別紙5
 - ③ 巨樹データ管理部会巨樹DB公開について 別紙5
 - ④ 創立35周年春季探訪会の内容変更について 別紙6